

第70期中間報告書

(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(証券コード7525)

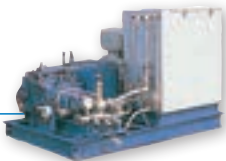


RIX リックス株式会社

事業紹介

商品

圧力発生機



プランジャーポンプ
高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として利用

応用機器・システム商品

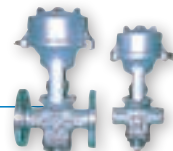
ロッキーワッシャー
多用途の高圧水洗浄機



金属接合機 (TOX)
異種金属板を接合する機械

関連技術商品

三方ピストン弁 (ロッキーバルブ)
高圧のガス等の流量を調整する弁
主にタイヤメーカーの加硫機に使用



付属機器・部品



オイルシール類
高圧の水・油を密封し外に漏れないようにする
外部からダストが侵入するのを防ぐ

商社機能

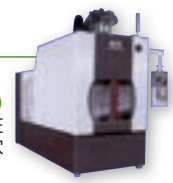
製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置
半導体新製品 (CSP, BGA等)
の製造工程に使用されるフラ
ックスを除去し、純水にて精
密仕上げ洗浄を行う装置



NC高圧洗浄機 (ジェットフレックス)
自動車業界向けの、高圧
水を利用した部品の深穴
の金属バリ取装置



付属機器・部品

**クリーンルーム対応
ロータリージョイント**
半導体業界で、CMP設備な
どに水や研磨剤などを供給
する回転継手



**工作機械用
ロータリージョイント**
マシニングセンタでク
ラント液をスピンドル
から噴射する用途に
使用する回転継手



メーカー機能

営業区分

リックスはお客様のニーズに
迅速・的確に対応できる顧客
密着型の「メーカー商社」と
いう業態です。

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

紙パルプ

その他

株主の皆様へ



代表取締役社長
松浦賢治

「メーカー商社」として 世界の産業界に貢献します

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申
上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社第70期中間期(平成27年4月1日から平成
27年9月30日まで)における業績のとりまとめを終
えましたので、ここに第70期中間報告書をお届けし
ます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支
援を賜りますようお願い申し上げます。

トップインタビュー

Q. 当中間期の営業概況について教えてください。

A. 前年同期比で、売上高は7.2%増の164億62百万円、
営業利益は40.3%増の8億71百万円、経常利益は39.0%
増の9億85百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は
55.6%増の5億98百万円となりました。

当中間期の世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復基調
が維持されたものの、顕在化する中国の景気減速による影響
が資源国に及ぶことが懸念され、先行きの不透明感が強い状
況でした。

日本経済は、持ち直しの動きが弱まって足踏み状態となり、
輸出や個人消費が伸びず、設備投資においても様子見の姿勢
が見受けられました。

このような経済環境のもと、当社グループでは中期3ヵ年
計画「戦略ビジョン2017」に基づく施策を推し進め、経営課
題の解決と経営目標の達成に取り組んでまいりました。

この結果、当中間期の業績は2期連続の増収、経常利益に
ついては3期連続での増益を達成しています。

Q. 当中間期のセグメント別事業の概況について
教えてください。

A. 当社顧客業界別の各セグメントの成績は、パソコン需
要の低迷が影響した電子・半導体業界を除き、いずれも増収
の結果となりました。

鉄鋼業界向けでは、粗鋼減産の影響で生産比例品の販売が
伸び悩むなかで、生産性や品質の向上、コストダウン、省エネ



につながる提案営業に努めたことで、ベアリング再生などの販売が増加しました。この結果、売上高は52億1百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

自動車業界向けでは、完成車メーカー向け陽極酸化処理装置や自動車部品メーカー向けメッキ剥離装置が売上増に貢献しました。この結果、売上高は37億42百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、メンテナンス案件の取り込みに注力し、フィルターやシール製品の販売が伸びましたが、前年同期の検査設備向け大口案件のマイナスを補うことができませんでした。この結果、売上高は15億59百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、国内タイヤメーカーの海外向け設備投資案件を着実に捉え、タイヤ加硫機用バルブの販売が増加しました。この結果、売上高は17億14百万円(前年同期比20.8%増)となりました。

高機能材業界向けでは、プラント向け真空ポンプや樹脂フィルム製造用圧延ロールなどが売上増に貢献しました。この結果、売上高は7億2百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

環境業界向けでは、廃棄物処理設備の漏洩機器改造やシールド掘進機用回転継手などが売上増に貢献しました。この結果、売上高は8億44百万円(前年同期比38.0%増)となりました。

紙パルプ業界向けでは、製紙設備に使用されるミキサーやポンプなどが売上増に貢献しました。この結果、売上高は3億59百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

Q. 2015年度より始まった中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2017」の概略や目的などについて教えてください。

A. 国内製造業の成長戦略へ対応する経営課題を解決し、グローバルニッチトップの企業グループとなることを目指しています。

当社グループの業績は、国内製造業の設備投資と生産活動をサポートしていますが、少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越した国内製造業各社は、生産部門の海外移管をますます加速しています。この変化への対応が、当社グループの最も重要な経営課題となっています。

こうした経営課題の解決に向け、当社グループでは、2012年度に始まり、経常利益(連結)15億円という目標を達成した中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2014」に続く新たな中期3ヵ年計画として、「戦略ビジョン2017」を策定し、その目標の達成に全社一丸となって取り組んでいます。

「戦略ビジョン2017」の骨子としては、メーカー商社のビジネスモデルをさらに進化させるとともに、より専門的でニッチな分野での開発やメンテナンスに代わり、メーカー機能を向上させることで創り出した高付加価値製品やサービスを、各業界のナンバーワン企業顧客に提供するグローバルニッチトップの企業グループを目指すことです。

Q. 今後に向けてのビジョン、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A. ビジネスパートナーとの強固な信頼関係のもとで、なお一層の発展を目指していきたいと思っています。

当第2四半期の業績予想は、連結、単体ともに売上高が当初の予想値を若干下回ったものの、販管費が計画数値を下

回って推移したこと、また、連結子会社での大口商談による利益の押し上げがあったため、利益面で前回の予想を上回ることとなりました。

通期につきましては、当第2四半期の実績にくわえ、不透明感のある下期の経済情勢を考慮した業績を予想していません。詳細につきましては、平成27年10月22日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」でご紹介させていただきました。

当社グループでは、ビジネスパートナーであるお客様とメーカーのご協力によって、大きな成果が得られるものと考えています。一企業の力には限りがありますが、強固な信頼関係によって築かれた力を結集することで、より一層の飛躍が遂げられると思っています。

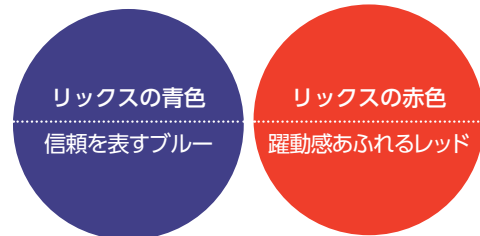
株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

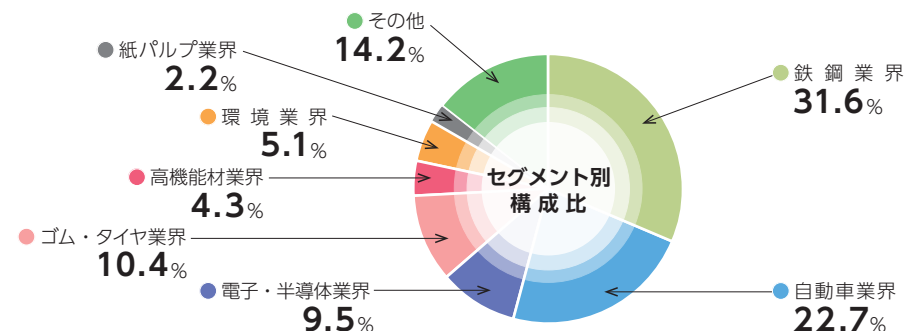
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY(工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性



セグメント別構成比



連結財務諸表



連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 (平成27年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成27年9月30日現在)	科目	前期末 (平成27年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成27年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	15,833	16,844	流動負債	10,015	10,047
固定資産	6,749	6,530	固定負債	1,148	1,463
有形固定資産	1,984	2,133	負債合計	11,163	11,510
無形固定資産	75	115	純資産の部		
投資その他の資産	4,688	4,281	株主資本	9,819	10,449
資産合計	22,582	23,374	資本金	827	827
			資本剰余金	683	683
			利益剰余金	8,430	9,059
			自己株式	△122	△122
			その他の包括利益累計額	1,050	862
			非支配株主持分	548	551
			純資産合計	11,418	11,863
			負債・純資産合計	22,582	23,374

連結損益計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
売上高	15,359	16,462
売上原価	12,300	13,003
売上総利益	3,059	3,459
販売費及び一般管理費	2,438	2,588
営業利益	621	871
営業外収益	96	118
営業外費用	9	4
経常利益	708	985
特別利益	2	1
特別損失	5	4
税金等調整前四半期純利益	705	981
法人税等	303	358
四半期純利益	401	623
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	384	598

連結包括利益計算書

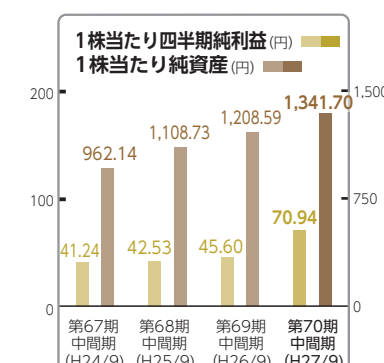
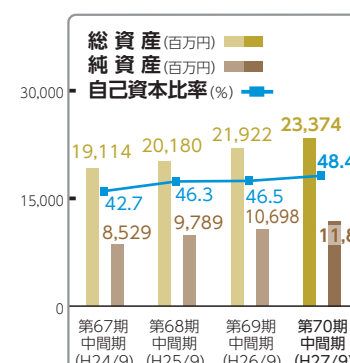
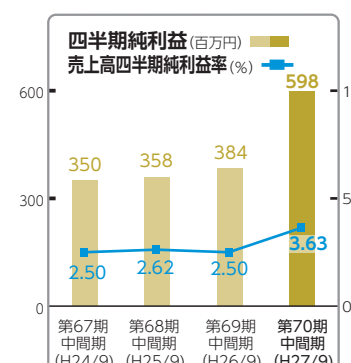
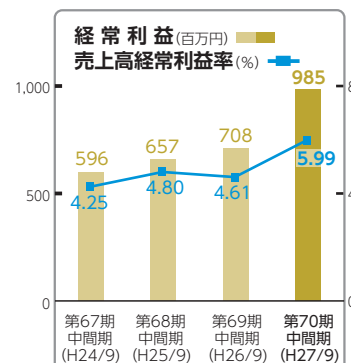
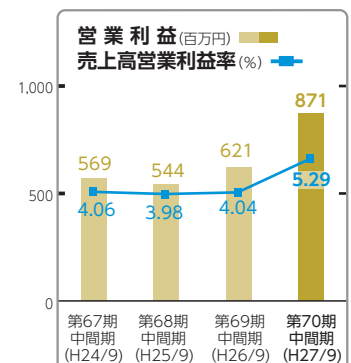
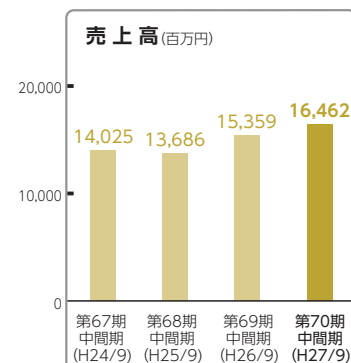
単位：百万円

科目	前第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
四半期純利益	401	623
その他の包括利益	182	△203
その他有価証券評価差額金	207	△210
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	△28	10
退職給付に係る調整額	0	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
四半期包括利益 (内 訳)	583	420
親会社株主に係る四半期包括利益	530	410
非支配株主に係る四半期包括利益	53	9

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25	394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102	△211
財務活動によるキャッシュ・フロー	239	291
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	97	479
現金及び現金同等物の期首残高	1,821	2,172
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	158
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,919	2,811



* 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益の値を表示しております。

当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっております。

当社グループは、2012年度に始まる中期3ヵ年計画『戦略

ビジョン2014』において、経常利益(連結)15億円を目標としておりましたが、最終年度である2014年度に達成することができました。

これを受けて、2015年度より新たに中期3ヵ年計画『戦略ビジョン2017』を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

● 戦略ビジョン2014
2012年度～2014年度

● 戦略ビジョン2017
2015年度～2017年度

戦略ビジョン2017 (2015年度～2017年度)

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップしながら、高付加価値を創り出し、各々の分野のナンバーワン企業顧客に、提供できるグローバルニッチトップのグローバル企業集団を目指します。

経営目標

経常利益**20億円(連結)**の達成

● 事業方針

1 メーカー商社のビジネスモデルの進化

- 1) 営業プロセス改革・生産プロセス改革の継続
- 2) 顧客接点でのメーカー的対応能力の強化
- 3) リックスグループ企業の協働を通じた結束の強化
- 4) 新事業開発・新製品開発・新市場開発の推進

2 海外事業展開の促進

- 1) 欧米を含むグローバルな拠点展開
- 2) アジア地域における適正規模での黒字化

3 人と組織の能力向上

- 1) 企画機能の向上と全社的な統合
- 2) 社内制度・ルール・教育体系の根本的な見直し
- 3) 計画的・継続的な人材育成

Topic

トピック

シリーズ製品紹介

リックスの製品はこんなところで使われています...

■ LEDリフレクター樹脂バリ取り装置

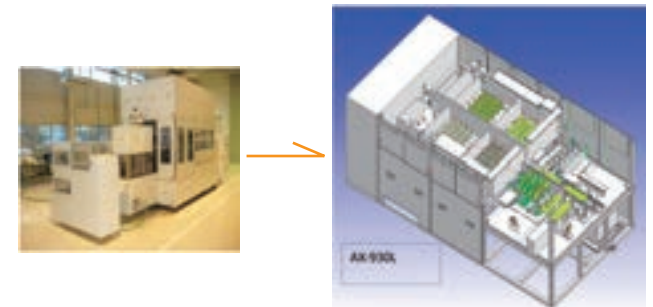
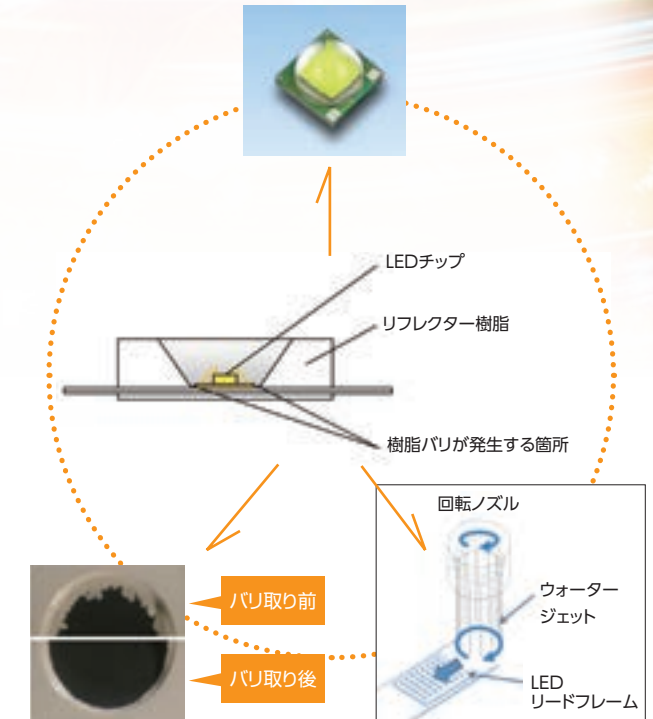
近年、電球や蛍光灯に代わってLEDがさまざまなところで使用されています。

自動車のテールランプ、テレビやモニターのバックライト、照明器具などがそうです。LEDは発光素子に電気を流すと、LEDチップそのものが発光体となります。その小さな発光体の周りにはリフレクターと呼ばれる反射板があり、光を一定方向に集める役割をしています。リフレクターは樹脂射出成形でつくられますが、そのときLEDパッケージの底面に樹脂バリができてしまいます。LEDの輝度を確保するために、またLEDパッケージの製法上、樹脂バリをきれいに取り除いてやる必要があります。

樹脂バリ取りの方法としては、レーザーによる除去や、ウェットブラストによる除去があります。レーザー法は、除去したい樹脂バリの形をなぞって照射するために時間がかかります。ウェットブラスト法は、水に小さな粒子(樹脂やガラスビーズ等)を混ぜ合わせた液を噴射する方法です。粒子が入っているため、噴射の衝撃力は強いですが、力の調節が難しく、母材にダメージを与えてしまい、輝度が低下するという欠点があります。

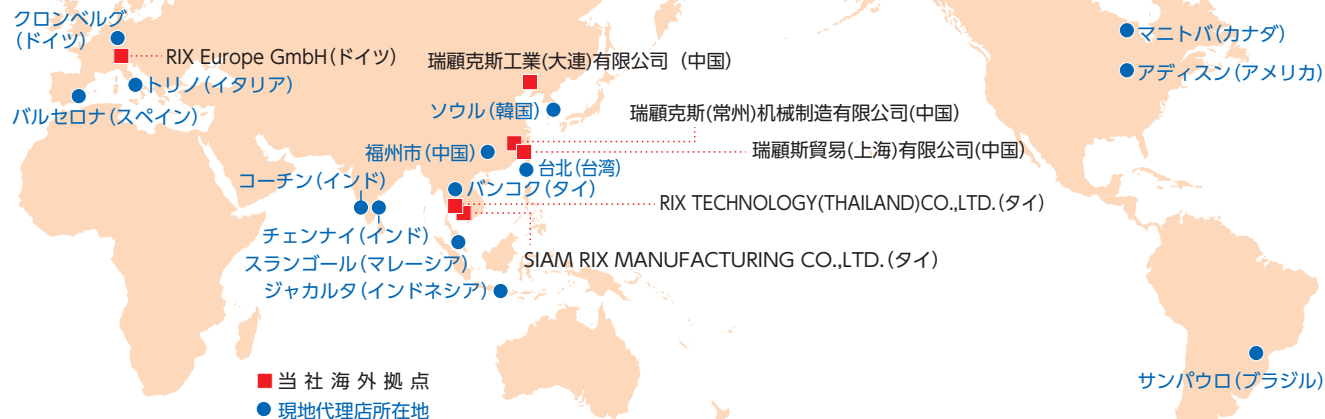
リックスのLEDリフレクター樹脂バリ取り装置は、高圧のウォータージェットを直接、樹脂バリ部に噴射して除去します。ロータリージョイントを内蔵した、独自の回転ノズルでウォータージェットを均一に噴射することで、母材にダメージを与えずに樹脂バリだけを効率よく除去することができるので、LEDの品質が安定します。

LEDは今後もますます多く使われるようになるでしょう。リックスのLEDリフレクター樹脂バリ取り装置はみなさまの身近なところで活躍しています。



リックグループネットワーク

海外ネットワーク (平成27年9月30日現在)



事業所 (平成27年9月30日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。

★管理本部	自動車事業部	自動車部	豊橋営業所、豊田営業所、西尾営業所
★企画本部	鉄鋼事業部	鉄鋼部	鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所
★事業開発本部	国内営業統括部	東営業部	苫小牧営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、北陸営業所、富士営業所、名古屋営業所、三河営業所、東海営業所、四日市営業所
■営業本部	国内営業統括部	西営業部	滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、和歌山営業所、倉敷営業所、広島営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、熊本営業所、大分営業所
	市場開発推進統括部	鉄鋼本社担当営業部	
★海外事業本部	海外営業部		
■生産本部	福岡事業所		

会社情報 / 株式情報

会社概要 (平成27年9月30日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 352名(連結527名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

取締役および監査等委員である取締役 (平成27年9月30日現在)

代表取締役社長 松浦 賢治	取締役 橋本 忠
常務取締役 柿森 英明	取締役 安井 卓
常務取締役 川久保 昇	取締役(監査等委員) 大曲 宣彦
取締役 苅田 透	取締役(監査等委員) 小西 正純(*)
取締役 芹川 康介	取締役(監査等委員) 武藤 靖(*)

(*)社外取締役

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

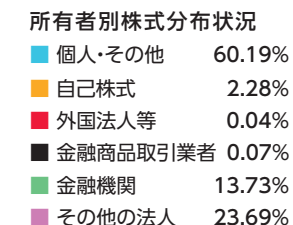
- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 10,642名

大株主 (上位10名)

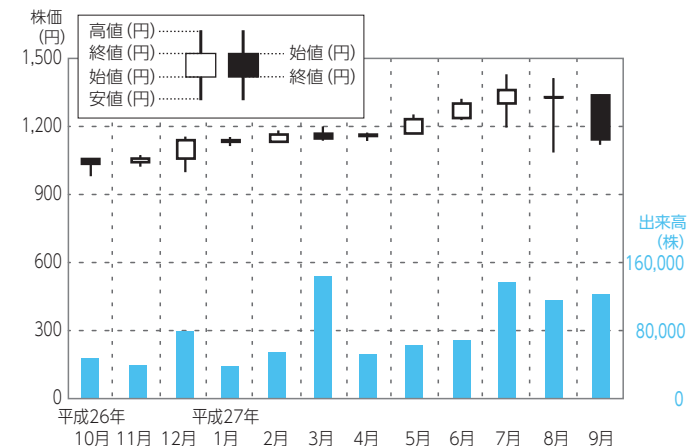
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	13.83
リック取引先持株会	504	5.98
安井玄一郎	455	5.39
株式会社西日本シティ銀行	382	4.53
リック従業員持株会	302	3.58
安井龍之助	242	2.87
株式会社サニックス	240	2.84
園田和佳子	172	2.04
山田貴広	172	2.04
株式会社三菱東京UFJ銀行	152	1.80

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 上記大株主のほか、当社は自己株式197千株を保有しております。

株式分布状況 (平成27年9月30日現在)



株価および株式売買高の推移



株主メモ

- ◆ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 毎年6月
- ◆ 配当金受領
株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- ◆ 株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◆ 株式に関する各種手続の申込先について
・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。
ただし、特別口座に登録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ◆ 同連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)
- ◆ 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <http://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
- ◆ 単元株式数 100株
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。



- 割当基準日
3月31日ならびに9月30日
- 優待内容
 - ・100株以上1,000株未満所有の株主様
→ クオカード1,000円分
 - ・1,000株以上10,000株未満所有の株主様
→ クオカード2,000円分
 - ・10,000株以上所有の株主様
→ クオカード5,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<http://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索

お客様の事業から探す

お問い合わせ

RIX リックス株式会社

〒812-8672

福岡市博多区山王一丁目15番15号

TEL (092) 472-7311

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。